

こんにちは。O です。

今日は、臨時休校中にあった出来事について話します。

3月以降、先生たちは、校舎の壊れた場所を直したり、学校内の備品の断捨離をしたり、今後の授業について会議をしたりしながら毎日を過ごしています。

その日も、校内を掃除するため、打ち合わせをしていました。「では、先生方、よろしくお願ひします。」校務主任の先生がそういふと、先生方は、それぞれの持ち場へ一斉に動き始めます。2年職員の担当は、4階廊下のワックスがけです。ワックスをかける前には、床の埃をきれいにほうきで掃き、水拭き雑巾で床を磨かなくてはなりません。また、液体ワックスはバケツに入れ、ワックスを伸ばすためのモップが必要になります。

まず、T・R 先生が声をあげます。「ワックスとモップを取りに行きましょう！」明中生活6年目のT・R 先生にかかれば、道具の在りかなんてすべてお見通しです。T・M 先生は、「じゃあ、ぞうきんがけで勝負しよう」と提案。体育教師の本能が垣間見えました。それにK・R 先生とT・R 先生がのっかり、ぞうきん片手に4階へ移動します。あ、K・R 先生は今年赴任された8組担任の先生ですよ。野球部の顧問になります。ちなみに私はワックスとモップを持って移動。とてもぞうきんレースに参加する気力は起きませんが……。K・S 先生とH・C 先生は、ほうきを持ち出し、ぞうきんがけの前に、すばやく床のほこりを掃きとります。女性ならではの気遣いと心遣いに感謝。S・Y 先生は、ワックスのにおいが籠らないよう、天窓を開けていきました。ふと見ると、T・M 先生は、ストップウォッチを持って

います。タイムアタック形式で、ぞうきんがけのスピードを競っているようです。水拭きが終わった床に、H・C先生がていねいにワックスを塗っていきます。K・S先生は、ワックスの入ったバケツを片手に、H・C先生について移動し、サポートをします。その頃 S・Y先生は、なぜか天井に刺さっていた画びょうを、台も使わず抜いていました。廊下の遥か向こうからは、力を使い切ったT先生の息切れが聞こえてきます。K・R先生は、汗だくになりながらも笑顔を絶やさず、さわやかでした。一応、私もワックスをかけました。でも、2年生の先生方が、自分たちで仕事を探し、どんどん働くのであまりやることがなかったというのが本音です。

私は、それぞれの得意なことを生かし、支え合える2年生の先生方を、学年主任として誇りに思っています。それ以上に、そんな先生方とともに学び、成長してきた2年生の皆さんのことを誇りに思っています。お世辞じゃないよ。本当に。

「早く学校が再開しないかな。」「早く会いたいな。」毎日、そんなことを思って過ごす日々。何気ない日常のありがたさを再確認する、今日この頃です。